



八島っ子

令和5年 八島小学校創立30周年記念

2023年(令和5年)
3月8日
3月号



八島小学校
学校だより



一年間ありがとうございました

春3月、一年を締めくくる季節を迎えました。今月23日(木)には、いよいよ4名の6年生が卒業されます。卒業する子どもたちが入学した2017年(平成29年)を振り返ってみますと、中学生プロ棋士の藤井聡太さんが公式戦新記録となる29連勝。日系英国人のカズオ・イシグロさんがノーベル文学賞を受賞。陸上の桐生祥秀さんが日本人初の公認記録100m走9秒台を達成。流行語にはインスタ映え、付度等があった年でした。ここ八重山では、全国離島交流中学生野球大会(通称「離島甲子園」)が石垣島で初開催。「ぼくらで作る緑あふれるやさしい島」をテーマに沖縄県植樹祭の式典が八島小学校で行われ、学校隣の公園ではピロウやクロトン等の植樹が行われました。

6年前の出来事は、つい最近のことのように思いますが、卒業する子どもたちにとっては、この6年間はかけがえない歩みであり、いろんなことを学んできた時間でもありません。保護者にとっては、「大きくなったなあ」という実感と共に、あつという間の6年間だったのではないのでしょうか。ご苦労もあつたことと思います。小学校を卒業し、新たに中学生となる子どもの成長はさらに飛躍していきま

す。小学校の卒業を一つの節目として、中学生になる子どもたちに期待を込めて応援を送ってほしいと思います。6年生にとつては、委員会活動やハーリー体験、体育発表会(組体操)、クラブ活動、修学旅行、学びの成果発表会、そして所属している部活動等での活躍など、リーダーとして存分に力を発揮し、責任や気配りもできる力も身につけることができそうです。今は、卒業制作で、体育マツト運び台車作りに取り組んでいます。皆さんの成長はとも素晴らしく誇りに思います。中学生になっても、一人ひとりの力を存分に発揮し、自分の個性や良さをさらに伸ばし、それぞれが進学する中学校で新たな風を吹き込んでいく

ください。卒業生と同様に、在校生もこの一年間の学びを通して大きく成長してくれました。先月の児童会引継式を終えて、今ではしっかりとバトンを受け継ぎ、朝から委員会活動に責任もって頑張っている5年生をはじめ、新入学生の体験入学では、学校生活のことを紹介し、優しく「ドキドキどん1年生」を教えている1年生の成長した姿も見られました。他の学年においても、それぞれ自分のできることで増え、心身ともに成長しています。進級後も、素直に学び、自分の可能性を広げてほしいと思います。今年度も本校の教育活動に、保護者皆様をはじめ、地域の方、関係機関の方々に多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



「違いを強みに」

2月3日(金) 5・6校時
講師に高良翔大氏を招き低学年と高学年を対象に、キャリア教育講話を開催しました。

「違いを強みに」と題し大変貴重な講話をしてくださいました。どんな状況であろうと、翔大さんの前向きに夢に向かって前進している生き方は、全児童の心に響くお話でした。

海外留学時代のエピソードを通しながら、いろんなことに挑戦してきたこと、逆境を跳ね返し何事にも積極的に挑戦する姿に心を打たれ、児童一人ひとりの強い励みになりました。

「障害は個性で強み 僕にできて みんなにできないことはない、可能性は無限大 色々なことに挑戦(チャレンジ)してほしい 1日24時間は誰にでも平等に与えられている 今日という日を迎えられたのは大きなプレゼントです」

子どもたちへ心強いメッセージを送ってくださいました。翔大さんが、海外で出会った友達からももらったメッセージを大切な宝物とおっしゃっていました。きつと八島っ子も翔大さんからももらったメッセージを心にとめ、これからの学校生活を有意義に過ごしていくことと信じております。

今回の講話をきっかけに子どもたちの、夢に向かって挑戦する姿勢に変化が生まれ、夢実現していく未来に期待が膨らみます。

2年ぶりの開催!

2月5日(日) いしがき教育の日の午前中、2年ぶりに八島っ子持久走記録会が行われました。

3年生以上は、自分の目標タイムを設定し、日頃体育の授業で取り組んできた持久力アップとペース配分を考慮した「トリムマラソン形式」で実施しました。

本番は、嬉しいことに全児童が完走することができました。その中において、自分の目標タイムどおりに走りきったピットリ賞も出るなど、大変盛り上がる表彰式にもなりました。

当日は、保護者の声援やご協力もあり、子どもたちは最後まで頑張って走りきることができました。

特に、保体委員会である5年保護者の皆様におきましては、交通整理のためにカラーコーンの借用・設置・後片付け、通行車両の誘導等、大変お疲れ様でした。

八島っ子持久走記録会へのご理解とご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



「車いす体験」・「手話を学ぶ」

2月16日木曜日、4年生を対象にした「福祉体験活動」が行われました。石垣市社会福祉協議会より5名の講師の方に来校いただき、車いすと手話について貴重な体験をさせていただきました。

「車いす体験」においては、三人一組となり、常に車いすに乗っている方の気持ちに寄り添い、普通に歩く速さで、時折声をかけながらという点に気をつけ、真剣に取り組む八島っ子4年生の姿がありました。中でも、スロープを下る際の後ろ向きに進む場面においては、より慎重に、より安全に配慮して車いすを操作する様子が伺えました。

教室では、「手話」について、聴覚障害者の方から発せられる手話と、通訳の方のその変換された言葉に集中し、真剣な眼差しで、常に手を用いて表現される「手話」に向き合う八島っ子の姿を垣間見ることができました。

今回の取り組みを通して、SDGsの項目ゴール③「全ての人に健康と福祉を」、またゴール⑩「パートナーシップで目標を達成しよう」等において「社会的障壁による不便さや課題を感じている障害者や高齢者の方々へのニーズを知る重要性と必要性」について考えさせられた時間でもありました。



March 3月

- 1日(水) ALT 来校
県立高校卒業式
 - 2日(木) むりかぶしタイム
学校テスト
教育講話2校時
 - 3日(金) 10歳を祝う会(4年)
 - 5日(日) 3学年PTA行事
 - 14日(火) 6年生を送る会
 - 15日(水) ALT 来校
卒業式式場設営
 - 16日(木) 卒業式練習(5・6年)
 - 20日(月) 卒業式前日準備等
 - 21日(火) 春分の日(公休日)
 - 23日(木) 卒業式
 - 24日(金) 修了式・離任式
- ※23、24日両日の給食はありませんのでよろしくお祈りします。

卒業式

- ### 令和5年度 新年度の日程
- ★始業式…4月10日(月)
普段通り登校
→体育館で待機
 - ★入学式…4月11日(火)

△八島っ子のやくそく! 帰宅は6時まで!

年度末3月、帰宅時間は上記の通り引き続き「午後6時までに帰宅」となります。各ご家庭におきましても、お子さんとのご確認をお願いします。

真新しい帽子



2月17日、春季キャンプを展開していた千葉ロッテ球団より、1年生にチーム帽子の寄贈がありました。今年度も球団の皆様のご厚意により、実現しております。お礼状をいただきました。1年生児童の皆さんは早速、その新しい帽子を被り、爽やかな表情で写真におさまっていました。

祝 3月23日は「令和4年度卒業式」

商工生3年 北峰愛助さん キャリア教育講話

2月17日(金)5校時「夢に向かって」と題し、6学年児童へ大変貴重な講話をしていただきました。夢に向かって努力することや、嫌いなものでも挑戦すること、好きなことは絶対に諦めない生き方を「人生の教訓」として、分かりやすくお話ししていただきました。子どもたちは、北峰さんのお話に強く興味・関心を惹かれ、否定的なイメージの強いゲームメーカーへの印象が、お話を進むにつれて肯定的に変容していく姿も興味深かったです。北峰さんのゲームと語学勉強の両立、肉体的トレーニングなどに取り組みでいる姿勢には、説得力がありました。また、質疑応答の時間では、子どもたちの質問に真摯に答えていただきました。一問一答に驚きを隠せませんでした。子どもたちの表情も大変印象的でした。

子どもたちへ分かりやすくプレゼンテーションを準備していたなど、高校生とは思えないしっかりとした貴重な講話を実現していただきました。短い時間ではありましたが、6年生にとって、は、勇気と希望を抱く時間になったこととでしよう。



教育講話 講師・浅井純子氏

3月2日(木)2校時「目の見えない私が真っ白な世界で見たこと」と題して、全児童に講話をしていただきました。傍らには盲導犬のヴィヴィッドがのんびりと寝ている中、軽快に子どもたちと会話のキャッチボールを楽しんでいたじゅんじゅん(純子さん)でした。

盲導犬には、人と同じように飛行機やバスに乗れること、ホテルや飲食店にも出入りができることなど、国の認定を受けていることを丁寧に説明してくれました。また、注意点として、①盲導犬に話しかけない ②触らない ③食べ物を与えない ④目を合わさない。以上4点の約束を子どもたちと交わしていました。

盲導犬の訓練には、人間関係づくりのために深い愛情をかけていること、話す言葉は英語に限ることなど、その他にもたくさん訓練について教えていただきました。

後半には、ヴィヴィッドと一緒に子どもたちの並んでいる合間をスムーズに見せてくれました。

目が見えなくなったことで八島小の皆さんと出会えたこと、このようにいられるところに行ってお話ができるのも、目が見えなくなってお話をされている姿がとても印象的でした。

最後に児童を代表して6年生の崎原真桜さんが「目が見えなくても前向きに進んでお礼の言葉を述べていました。」